

花（中 孝介）

本調子

1/4

中	も
上	し
中	も
五	あ
工	な
○	
中	た
上	が
四	あ
上	め
四	に
上	ぬ
中	れ
○	
乙	い
老	い

四	わ
老	け
四	さ
五	え
工	も
○	
中	で
工	き
尺	な
中	い
上	ほ
四	ど
上	に
合	
上	
工	な

中	に
上	か
中	に
五	ふ
工	か
○	
中	く
上	き
四	ず
上	つい
四	た
上	な
中	ら
○	
乙	せ
老	め

四	て
老	わ
四	た
五	し
工	は
合	
中	
工	
尺	て
中	を
上	む
四	す
中	び
合	
乙	か
老	ぜ

四	に
老	ほ
四	こ
五	ろ
工	ぶ
合	
中	は
工	な
尺	に
中	な
上	り
四	た
四	い
○	
四	
合	

七	
○	
○	
○	
六	
○	
中	
○	
五	
○	
○	
○	
工	
○	
中	
○	

四	
○	
○	
老	
上	
○	
工	
○	
中	
四	
合	
乙	
○	
乙	
四	
五	

七	
○	
○	
○	
八	
六	
工	
中	
五	
○	
○	
○	
工	
○	
中	
○	

四	
○	
○	
老	
上	
○	
工	
○	
中	
四	
七	
八	
○	
八	
六	
工	

中	も
上	し
中	も
五	あ
工	な
○	
中	た
上	の
四	ゆ
上	め
四	や
上	ぶ
中	れ
○	
乙	ゆ
老	き

四	さ
老	き
四	の
五	な
工	い
○	
中	ひ
工	び
尺	は
中	く
上	れ
四	ゆ
上	き
合	
上	
工	し

中	ん
上	じ
中	る
五	こ
工	と
○	
中	さ
上	え
四	き
上	なく
四	な
上	れ
中	ば
○	
乙	せ
老	め

2 / 4

四	て
老	わ
四	た
五	し
工	が
合	
中	
工	
尺	こ
中	え
上	に
四	し
中	て
中	
合	
乙	あ
老	す

四	に
老	た
四	ゆ
五	た
工	う
合	
中	う
工	た
尺	を
中	う
上	た
四	お
四	う
○	
四	
合	

○	
合	
四	
工	
中	は
○	
合	な
中	の
工	よ
○	う
老	に
老	は
四	な
合	
四	の
上	よう
中	

中	に
○	
中	た
上	だ
四	そ
乙	こ
四	に
五	さ
工	く
○	だ
四	け
合	でう
四	つ
○	く
四	し
上	く

中	あ
合	
上	れ
合	
中	ひ
合	
中	と
中	は
工	み
合	
老	な
老	ひ
四	と
○	
四	は
七	み

七	な
○	
中	
○	
四	
○	
中	だ
上	い
四	ち
乙	を
四	つ
五	よ
工	く
○	
四	
工	

尺	ふ
中	み
上	し
四	め
中	て
○	
乙	そ
老	れ
四	ぞ
老	れ
四	の
五	は
工	な
○	
中	こ
工	こ

[illegible][illegible]

中	た
上	と
四	え
乙	こ
四	の
五	み
工	が
○	
四	
工	
尺	は
中	て
上	る
四	と
中	も
○	

乙	そ
老	よ
四	ぐ
老	し
四	ま
五	か
工	ぜ
○	
中	ね
工	が
尺	い
中	に
上	そ
四	ま
上	
○	れ

[illegible]

3/4

[illegible]

花（中 孝介）

本調子

4/4

中	上	四	乙	四	五	工	○	四	工	尺	中	上	四	中	○
だ	い	ち	を	つ	よ	く				ふ	み	し	め	て	

乙	老	四	老	四	五	工	○	中	工	尺	中	上	四	四	○
そ	れ	ぞ	れ	の	は	な		こ	こ	ろ	に	や	ど	す	

合	○	合	四	工											
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

一、もしもあなたが雨に濡れ
言い訳さえも できなほどに
何かに深く 傷ついたなら
せめて私は 手を結び
風にほころぶ 花になりたい

二、例えこの身が 果てるとも
そよぐ島風 願いに染まれ

もしもあなたの夢破れ
行先のない 日々は暮れゆき
信じることさえ できなくなれば
せめて私が 声にして
明日に揺蕩う 歌をうたおう

花のように 花のように
ただ風に揺れるだけの この生命
人と人 また 人と人
紡ぐ時代に 身をまかせ
それぞれの実が たわわなればと

花のように 花のように
ただそこに咲くだけで 美しくあれ
人はみな 人はみな
大地を強く 踏みしめて
それぞれの花 心に宿す

花のように 花のように
ただそこに咲くだけで 美しくあれ
人は今 人は今
大地を強く踏みしめて
それぞれの花 心に宿す